

医師国家試験設計表（ブループリント）

[出題割合は概数なので、必ずしも合計が100%にならない場合もある。]

【必修の基本的事項】

- 1 医の倫理、患者の人権 約 4%
- 2 社会と医療 約 2%
- 3 診療情報と諸証明書 約 2%
- 4 医療の質と安全の確保 約 4%
- 5 人体の構造と機能 約 3%
- 6 医療面接 約 6%
- 7 主要症候 約15%
- 8 一般的な身体診察 約13%
- 9 検査の基本 約 5%
- 10 臨床判断の基本 約 4%
- 11 初期救急 約 9%
- 12 主要疾患・症候群 約10%
- 13 治療の基礎と基本手技 約 8%
- 14 死と終末期ケア 約 2%
- 15 チーム医療 約 2%
- 16 生活習慣とリスク 約 5%
- 17 心理・社会的側面についての配慮 約 4%
- 18 一般教養的事項 約 2%

【医学総論】

- | | |
|----------------------|-------------|
| I 保健医療論 | 約10% |
| 1 健康・疾病・障害の概念と社会環境 | (約20%) |
| 2 社会保障制度と医療経済 | (約10%) |
| 3 保健・医療・福祉・介護の仕組み | (約15%) |
| 4 保健・医療・福祉・介護の資源 | (約15%) |
| 5 保健・医療・福祉・介護関係法規 | (約15%) |
| 6 地域保健、地域医療 | (約15%) |
| 7 國際保健 | (約10%) |
| II 予防と健康管理・増進 | 約13% |
| 1 予防医学と健康保持増進 | (約12%) |
| 2 人口統計と保健統計 | (約 8%) |
| 3 痘学とその応用 | (約 8%) |
| 4 母子保健 | (約12%) |
| 5 成人保健 | (約 4%) |
| 6 高齢者保健 | (約 4%) |
| 7 精神保健福祉 | (約 8%) |
| 8 感染症対策 | (約16%) |
| 9 国民栄養と食品保健 | (約 4%) |
| 10 学校保健 | (約 4%) |
| 11 産業保健 | (約 8%) |
| 12 環境保健 | (約12%) |

III 人体の正常構造と機能

約10%

- 1 個体の構造 (約10%)
- 2 皮膚、頭頸部、感覺器、発声器 (約10%)
- 3 呼吸器、胸郭、胸壁 (約10%)
- 4 心臓、脈管 (約10%)
- 5 消化器、腹壁、腹膜 (約10%)
- 6 血液、造血器 (約10%)
- 7 腎、泌尿器、生殖器 (約10%)
- 8 心理、精神、神経、運動器 (約10%)
- 9 内分泌、代謝、栄養 (約10%)
- 10 免疫 (約10%)

IV 生殖、発生、成長・発達、加齢	約10%	VII 診察	約 8%
1 妊娠	(約15%)	1 2次・3次救急患者の診察	(約27%)
2 分娩	(約15%)	2 高齢者の診察と評価	(約27%)
3 産褥	(約10%)	3 小児の診察	(約20%)
4 胎児	(約10%)	4 胎児・新生児の診察と評価	(約13%)
5 新生児、乳児期	(約15%)	5 妊・産・褥婦と胎児の診察	(約13%)
6 小児期	(約15%)		
7 思春期、青年期	(約10%)		
8 加齢、老化	(約10%)		
V 病因、病態生理	約13%	VIII 検査	約10%
1 疾病と影響因子	(約 8%)	1 検体検査	(約25%)
2 先天異常	(約 8%)	2 生体機能検査	(約15%)
3 損傷、炎症	(約 8%)	3 皮膚・感覺器・発声機能検査	(約10%)
4 感染	(約 8%)	4 心理・精神機能検査	(約10%)
5 アレルギー、免疫異常	(約 8%)	5 妊娠・分娩・胎児・新生児の検査	(約10%)
6 腹痛	(約 8%)	6 画像検査と内視鏡検査	(約30%)
7 循環障害、臓器不全	(約 8%)		
8 内分泌・代謝・栄養の異常	(約 8%)		
9 中毒、放射線障害	(約 8%)		
10 医原病	(約 8%)		
11 死	(約20%)		
VI 症候	約13%	IX 治療	約15%
1 全身症候	(約16%)	1 食事・栄養療法	(約10%)
2 皮膚、外表	(約 8%)	2 薬物療法	(約10%)
3 頭頸部、感覺器	(約12%)	3 輸液、輸血、血液浄化	(約10%)
4 呼吸器、心臓、血管	(約12%)	4 手術、周術期の管理、麻酔	(約10%)
5 消化器	(約 8%)	5 臓器・組織移植、人工臓器、再生医療	(約 7%)
6 血液、造血器、免疫	(約12%)	6 放射線治療	(約 7%)
7 腎、泌尿器、生殖器	(約 8%)	7 インターベンショナルラジオロジー[interventional radiology<IVR>]	(約 7%)
8 心理、精神機能	(約 8%)	8 内視鏡治療	(約 7%)
9 神経、運動器	(約 8%)	9 リハビリテーション	(約10%)
10 内分泌、代謝、栄養	(約 8%)	10 2次・3次救急患者の治療	(約13%)
		11 緩和医療	(約 6%)
		12 その他の治療法	(約 4%)

【医学各論】

I 先天異常、周産期の異常、成長・発達の異常	約 5%	IV 呼吸器・胸壁・縦隔疾患	約 7%
1 妊娠の異常	(約20%)	1 感染性呼吸器疾患	(約14%)
2 分娩・産褥の異常	(約20%)	2 気管・気管支・肺の形態・機能異常、外傷	(約12%)
3 胎児・新生児の異常	(約30%)	3 免疫学的機序が考えられる肺疾患	(約12%)
4 性分化・染色体異常、先天異常および成長・発達の障害	(約30%)	4 実質性・間質性肺障害	(約12%)
		5 肺循環異常	(約12%)
		6 気管支・肺・縦隔腫瘍	(約14%)
II 精神・心身医学的疾患	約 5%	7 胸膜・縦隔・横隔膜・胸郭の形態・機能異常、外傷	(約12%)
1 器質性精神障害および精神作用物質関連障害	(約20%)	8 呼吸不全・呼吸異常	(約12%)
2 気分障害および統合失調症、統合失調型障害、妄想性障害	(約20%)		
3 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	(約20%)	V 心臓・脈管疾患	約10%
4 生理的障害および身体的要因に関連した障害	(約20%)	1 不整脈	(約10%)
5 幼児・小児・青年期の精神・心身医学的疾患および成人の人格並びに行動傷害	(約20%)	2 心不全	(約10%)
		3 先天性心疾患	(約10%)
		4 弁膜症	(約15%)
		5 虚血性心疾患	(約20%)
		6 心筋・心膜疾患、心臓腫瘍、外傷	(約10%)
		7 血圧異常	(約10%)
		8 脈管疾患	(約15%)
III 皮膚・頭頸部疾患	約11%	VI 消化器・腹壁・腹膜疾患	約13%
1 炎症性皮膚疾患	(約 9%)	1 食道疾患	(約 8%)
2 腫瘍・母斑性皮膚疾患	(約 9%)	2 胃・十二指腸疾患	(約20%)
3 その他の皮膚疾患	(約 9%)	3 小腸・結腸疾患	(約12%)
4 視機能異常・視神経疾患	(約 9%)	4 直腸・肛門疾患	(約 8%)
5 外眼部・前眼部疾患	(約 9%)	5 肝疾患	(約12%)
6 後眼部疾患	(約 9%)	6 胆道疾患	(約 8%)
7 外耳・中耳疾患	(約 9%)	7 膵疾患	(約 8%)
8 内耳・神経疾患	(約 9%)	8 横隔膜・腹膜・腹壁疾患	(約 8%)
9 鼻腔・副鼻腔・喉頭疾患	(約 9%)	9 急性腹症	(約 8%)
10 咽頭・口腔・唾液腺疾患	(約 9%)	10 損傷、異物	(約 8%)
11 損傷、奇形	(約 9%)		

VII 血液・造血器疾患	約 5%	X 内分泌・代謝・栄養・乳腺疾患	約 8%
1 赤血球系疾患	(約30%)	1 間脳・下垂体疾患	(約14%)
2 白血球系疾患とその他の骨髄性疾患	(約30%)	2 甲状腺疾患と副甲状腺<上皮小体>疾患	(約12%)
3 悪性リンパ腫と類縁疾患	(約20%)	3 副腎疾患	(約12%)
4 出血性疾患と血栓傾向	(約20%)	4 その他の内分泌疾患	(約12%)
		5 糖質・脂質・蛋白・アミノ酸代謝異常	(約26%)
VIII 腎・泌尿器・生殖器疾患	約12%	6 その他の代謝異常	(約12%)
1 細球体病変	(約 9%)	7 乳腺・乳房疾患	(約12%)
2 血管・尿細管・間質病変	(約 9%)		
3 腎機能の障害による異常	(約13%)		
4 腎・尿路結石と尿路閉塞性疾患	(約 9%)		
5 腎・尿路・生殖器の炎症	(約 9%)		
6 腎・尿路・男性生殖器の腫瘍	(約 9%)		
7 女性生殖器の類腫瘍・腫瘍	(約13%)		
8 月経異常、不妊、不育	(約13%)		
9 更年期・閉経後障害	(約 9%)		
10 その他の尿路・生殖器異常	(約 9%)		
IX 神経・運動器疾患	約 9%	XI アレルギー性疾患・膠原病、免疫病	約 5%
1 脳血管障害	(約15%)	1 アレルギー性疾患	(約30%)
2 脳腫瘍	(約 5%)	2 膠原病と類縁疾患	(約50%)
3 神経・運動器の感染症	(約10%)	3 原発性・続発性免疫不全症	(約20%)
4 神経変性疾患、脱髓疾患	(約10%)		
5 末梢神経疾患、神経筋接合部疾患、筋疾患	(約10%)		
6 けいれん性疾患、てんかん、機能性疾患、自律性疾患	(約 7%)		
7 脊椎・脊髄疾患、骨・関節系統疾患	(約10%)		
8 上肢および下肢の運動器疾患、非感染性骨・関節・四肢軟部疾患	(約15%)		
9 骨・軟部腫瘍と類似疾患	(約 5%)		
10 神経・運動器の外傷、脳・脊髄の奇形、神経・皮膚症候群、小児に特徴的な神経疾患、その他	(約13%)		
		XII 感染性疾患	約8%
		1 ウイルス	(約25%)
		2 クラミジア、マイコプラズマ、リケッチア	(約15%)
		3 細菌 [抗酸菌<マイコバクテリア>を除く]	(約30%)
		4 抗酸菌<マイコバクテリア>	(約15%)
		5 真菌、寄生虫、その他の感染症	(約15%)
		XIII 生活環境因子・職業性因子による疾患	約 5%
		1 食中毒および病害動物による疾患	(約20%)
		2 アルコールによる障害および薬物依存・中毒	(約20%)
		3 喫煙による影響	(約20%)
		4 産業中毒およびその他の職業性疾患	(約20%)
		5 物理的原因による疾患およびその他の生活環境因子による障害	(約20%)